調査票の記入要領・記入例

処分業者調査票

沖縄県産業廃棄物に関する処分業者調査票

記入要領

(1)本調査の対象期間は令和7年度(2025年4月1日～2026年3月31日)の1年間です。
(2)本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所についてお答えください。
(3)太枠に囲まれた箇所につきましては、必ずご回答願います。
(4)廃棄物等の重量は、全て「トン(t)」単位で記入してください。
(5)他の単位(㎥)を使用している場合は、「トン(t)」に換算してください。(表:換算係数を参照)
(6)小数点以下は、小数点第2位まで記入し、第3位を四捨五入してください。
(7)産業廃棄物の種類は、マニフェスト記載の品目で回答ください。
　　不明な場合は、混合廃棄物(〇〇)と記載し、含まれる廃棄物の種類を括弧内に明記してください。
(8)汚泥の発生量は、脱水機投入前の濃縮汚泥の量を記入してください。

記入例と注意事項

問2 産業廃棄物の受入、処理状況について

単位:トン/年

項　目	令和7年度	令和6年度
①中間処理量 (中間処理した合計量)	200.00 トン	250.00 トン
②中間処理後の残さ量 (中間処理後残さ量の合計量 ＝ ③+④+⑤)	60.00 トン	80.00 トン
③中間処理後残さの再生利用量 (自社利用、他人に売却又は無償譲渡した合計量)	50.00 トン	
④中間処理後残さの中間処理量 (自社の中間処理後物を他人に中間処理委託した合計量)	7.00 トン	10.00 トン
⑤中間処理後残さの埋立処分量 (他人に埋立処分を委託した合計量)	3.00 トン	10.00 トン
⑥埋立処分量 (埋立処分場を設置されている方のみ回答)		

※ ここで「残さ」とは、中間処理(破砕、選別、焼却、脱水等)後に残った物(廃棄物又は再生品等)をいいます。

合計は一致する

トン単位で記入すること。
記入要領(4)～(6)

〇 処理フロー図と各項目番号①～⑥が対応しています。
〇 エクセル様式では数値のみ入力し、単位は自動記載されます。

問3　米軍廃棄物の受入について

＜有価物・有償物(購入した物):貴事業所が排出者にお金を支払った＞

	1　受け入れていない
〇	2　受け入れた

いずれかを1つ選択し、〇を付ける。

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

年間総受入量	120.00 トン		
① 基地名	キャンプ〇〇	受入量	70.00 トン
主な種類	金属くず		
資源化用途	スクラップ		
② 基地名	〇〇ベース	受入量	50.00 トン
主な種類	廃プラスチック類		
資源化用途	リサイクル、RPF化		
③ 基地名		受入量	
主な種類			
資源化用途			

トン単位で記入すること。
記入要領(4)～(6)

問6　排出事業者への情報提供について

〇	1　インターネット(貴事業所のホームページ等)で常時公開している
〇	2　営業資料として作成し、適宜排出事業者に提供している
	3　排出事業者から求められたら資料を提供している
	4　県のホームページ(許可取得業者一覧表の公表)以外は特に情報提供していない
	5　その他　(具体的に)

該当する項目を選択し、〇を付ける。

自由記述欄